

▽ 小柳正弘 教授 KOYANAGI, Masahiro



学 科： 人間福祉学科

担当科目： 倫理学概論、倫理学Ⅰ・Ⅱ、倫理学ゼミ、哲学的人間論

ライティング・スキル、専門演習、社会倫理学特論(大学院)

学歴等のプロフィール

①【主要学歴】 ②【学位】 ③【所属学会】

① 熊本大学 大学院 社会文化科学研究科 博士後期課程修了

② 博士(学術)

③ 日本哲学会、日本倫理学会、日本法哲学会、日本デューイ学会、西日本哲学会(評議員)

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
<p>* 沖縄国際大学赴任後の2010年度以降の教育活動に関わるものだけを記す。</p> <p>①教育活動・方法の実践例</p> <p>1) 講義科目 倫理学Ⅰ・Ⅱ 倫理学概論 哲学的人間論 福祉と倫理 ライティング・スキル</p> <p>2) 演習科目 卒業論文演習</p> <p>3) 大学院 社会病理学特論</p> <p>②作成した教科書、教材、参考書</p> <p>(1) 小柳正弘著『自己決定の倫理と「私-たち」の自由』、ナカニシヤ出版、全280頁</p> <p>(2) 共著『自己決定論のゆくえ</p>	<p>2010年度</p> <p>2009年</p> <p>2008年</p>	<p>授業中に作成する小レポートをふまえて学生の発言を促す双方向的な授業をめざした。さらに、倫理学概論では、同一テーマをいくつかのグループにわかれて議論し、議論の結果についてグループ間で相互に検討しあう、グループディスカッションを試みた。上記のような試みを展開すべく後期からSAの担当をうけた。</p> <p>2010年度、倫理学概論、倫理学Ⅰ・Ⅱのテキストとして使用。</p> <p>2010年度、社会病理学(大学院)の参考資料と</p>

<p>－哲学・法学・医学の現場から－』、 小柳担当部分、第 2 章「自己決定の系譜と展開」、九州大学出版会、22-42 頁</p> <p>③学外での教育活動 沖縄県立看護大学非常勤講師</p>	<p>2010 年度</p>	<p>して小柳担当部分を使用。</p> <p>担当科目「哲学」(後期 2 単位)</p>
--	----------------	--

研究業績等

【 主要論文及び主要著書 】

<p>【著書・単著】 『自己決定の倫理と「私-たち」の自由』（2009 年）ナカニシヤ出版</p> <p>【著書・共著】 『自己決定論のゆくえー哲学・法学・医学の現場からー』（2008 年）九州大学出版会 『現代環境思想の展開ー21 世紀の自然観を創るー』（2004 年）新泉社 『ビジネス倫理学ー哲学的アプローチー』（2004 年）ナカニシヤ出版 『G.H.ミードの世界ーミード研究の最前線ー』（1997 年）恒星社厚生閣 『沖縄 創造の哲学』（1997 年）米盛裕二先生退官記念論集刊行会</p> <p>【訳書・共訳】 G.H.ミード著『西洋近代思想史ー十九世紀の思想のうごきー(上)(下)』（1994 年）講談社学術文庫</p> <p>【論文・単著】 「パターナリズムと当事者主権」『人間科学』（琉球大学法文学部人間科学科紀要）20、2007 年 「和辻倫理学と御嶽のエートスー〈風土のエチカ〉のために」『人間科学』（同上）10、2002 年 「コンテクストと自由ーバーリンの自由論にかんする解釈を中心に」『人間科学』（同上）4、1999 年 「他者と自我ーG.H.ミードを手がかりに」『八代高専紀要』15、1993 年 「学生がみずから考える哲学教育のこころみ」第 51 回九州地区大学一般教育研究協議会議事録、2003 年</p> <p>【科学研究費】 基盤(C)代表者「自己決定原理の理論的・実証的研究ー医療従事者の自己決定を素材に」2006-2008 年度 *その他、論文・翻訳、数編、招聘講演など</p>
--

研究分野

<p>哲学・倫理学</p>

【E メール・ホームページ等】

<p>mkoyanagi@okiu.ac.jp</p>
